

開講年度：2026

科目名	消化器 Gastroenterology	題目（副題）	消化器病学
担当教員、教員連絡先内線	上塚 祐司 嗣島 雄二・栗田 浩・藤永 康成・清水 明・菅野 祐幸・田中 直樹・岩佐 剛一郎 第二内科医局：5257 消化器・移植・小児外科学分野医局：5282		
学年、講義期間、曜日・時限	2年次 後期（随時）	月曜・3時限 月曜・4時限 月曜・5時限 月曜・6時限 火曜・1時限 火曜・2時限 火曜・3時限 火曜・4時限 火曜・5時限 火曜・6時限 水曜・1時限 水曜・2時限 水曜・3時限 木曜・1時限 木曜・2時限 木曜・3時限 木曜・4時限 木曜・5時限 木曜・6時限 金曜・3時限 金曜・4時限 金曜・5時限 金曜・6時限	
単位数、講義室	3単位 医学科第1臨床講堂	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄ 授業達成目標 M22カリ・医学 患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。 ⇄ 消化器病学における症候論、各種消化器臓器の構造・機能を理解し、消化器疾患の病態を理解する。 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。 ⇄ 各種消化器疾患の病態の理解に基づき、検査法、診断プロセス、治療法を学習し、疾患・病態に応じた適切な治療法を選択することができる。 M26カリ・医学, M25カリ・医学, M24カリ・医学, M23カリ・医学 ≪基礎的・専門的な知識と技能≫疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。 ⇄ ≪基礎的・専門的な知識と技能≫各種消化器疾患の病態の理解に基づき、検査法、診断プロセス、治療法を学習し、疾患・病態に応じた適切な治療法を選択することができる。 ≪問題解決力≫患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して適切に判断し必要な行動ができる。 ⇄ ≪問題解決力≫消化器病学における症候論、各種消化器臓器の構造・機能を理解し、消化器疾患の病態を理解する。		
臨床実習前の到達目標	・医学・医療の歴史的な流れ、臨床推論や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。 ・患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームド Consentなどの意義と必要性を説明できる。 ・患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を説明できる。 ・必要な課題を発見し、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な解決方法を見出すことができる。 ・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・適切な態度で診断治療を行うことができる。 ・問題志向型医療記録形式を用い、最低限の診療録を作成できる。 ・チーム医療の意義を説明できる。 ・チーム医療における医師の役割を説明できる。 ・研究は医学・医療の発展や患者の権利の増進のために行われることを説明できる。 ・生命科学の講義や実習から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断の深化につなげることができる。 ・生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。		
授業で学べる「テーマ」	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業のキーワード	消化管（口腔・食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肛門）疾患、肝・胆・膵疾患、腹膜疾患、歯科疾患、口腔機能、粘膜疾患、口腔領域に関連した症候群、口腔良性腫瘍、口腔外傷・炎症、顎変形症の外科的手術、オーラルケア、臓器別病理学（口腔、食道、胃、腸、肝、胆、膵）、病態、診断、血液生化学検査、内視鏡的検査、画像検査、interventional radiology、内科的治療、外科的治療、消化・吸収の生理学、栄養素・生体毒素の代謝実務経験のある教員による授業科目		
授業の概要・一般目標	PS-02-08-01 消化器系の構造と機能について基本的事項を理解している。 PS-02-08-02 消化器系でみられる症候について理解している。 PS-02-08-03 消化器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。 PS-02-08-04 消化器系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。 PS-02-08-05 消化器系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。		
テキスト、教材、参考書	テキスト 歯科口腔外科：口の中がわかる ビジュアル 歯科口腔科学読本、クインテッセンス出版株式会社 参考書 病理学：青笹、加藤、菅野：解明病理学（第4版）、医歯薬出版 ハーパー生化学（丸善出版）、シンプル生化学（南江堂） 吉野、小田、坂元、森井：病理組織の見方と鑑別診断（第7版）（医歯薬出版） 小田、坂元、深山、松野、森永、森谷：組織病理アトラス（第6版）（文光堂） 標準放射線医学（医学書院）、必修放射線医学（南江堂） Harrison's Principles of Internal Medicine 内科診断学(医学書院)、内科学（朝倉書店）		

テキスト，教材，参考書	標準外科学（医学書院）
履修上の注意	多くの講師が授業を行うので各授業の注意点はeALPSに記載するので必ず確認すること。 テキストの指定のある講義ではテキストに沿って講義を行う。 講義の範囲を予め予習して授業に参加すること。
授業の形式，視聴覚機器等の活用	テキスト・スライド・ビデオを活用する。 状況によりオンライン授業や、グループ学習を行う。
成績評価の方法	多肢選択式問題（Multiple Choice Question; MCQ）の試験を行う。試験では、本授業の学修目標への到達度および今後に必要な知識が定着しているかを確認します。 中間試験 33%、期末試験 67%で評価する。 中間試験：第 1回授業～第37回授業 計34コマ （1コマ 2問出題） 68問 計 68問 期末試験：第 1回授業～第37回授業 計34コマ （1コマ 1問出題） 34問 第39回授業～第70回授業 計28コマ （1コマ 3問出題） 84問 計118問
成績評価の基準	90-100点：秀 80-89点：優 70-79点：良 60-69点：可 59点以下：不可 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。
事前事後学習の内容	テキストの該当範囲・eALPSにアップされた講義資料を予習しておくこと。 本授業の単位修得には42時間分の時間外学習が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問，相談への対応）	歯科口腔外科学：栗田教授（hkurita@shinshu-u.ac.jp） 病理学組織学：菅野教授：毎週火・木曜日16:30～17:30 病理組織学教室（基礎棟2階） 連絡先：TEL: 0263-37-2608、FAX: 0263-37-2609 国際医学研究推進学：田中教授（naopi@shinshu-u.ac.jp） 消化器・移植・小児外科学：副島教授：連絡先医局：内線 5284、清水准教授（ashimizu@shinshu-u.ac.jp） 消化器内科学：長屋准教授（nagaya@shinshu-u.ac.jp）

授業日	第 1 回	12月 1日(火 1)	SB0s	口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の解剖および機能について理解し、説明できる。 ○口腔の特殊性を説明できる。 教科書（口の中がわかるビジュアル歯科口腔科学読本） P14-41 の範囲
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	歯科口腔の解剖、機能を理解する。			
担当	栗田 浩			
授業日	第 2 回	12月 1日(火 2)	SB0s	口腔・唾液腺疾患を列挙し、その病態と病理を概説できる。 口腔癌について、病因、病期分類、病理所見を説明できる。 ○唾液腺腫瘍の種類を列挙し、その予後と病理を概説できる。
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	口腔・唾液腺の病理：口腔・唾液腺疾患の病態と病理について学ぶ。			
担当	小林実喜子			
授業日	第 3 回	12月 1日(火 3)	SB0s	歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 歯科疾患と全身疾患との関連を理解し、説明できる。 摂食・嚥下障害を理解し、説明できる。 ○歯科心身症を理解し、説明できる。 ○顎関節症の疾患について理解し、診断と治療を説明できる。 ○顎口腔領域の神経疾患について理解し、診断と治療を説明できる。 教科書（口の中がわかるビジュアル歯科口腔科学読本） P146-186 の範囲
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	唾液、咀嚼、摂食・嚥下障害について学ぶ。			
担当	栗田 浩			
授業日	第 4 回	12月 1日(火 4)	SB0s	歯科口腔外科の検査法を理解し、説明できる。 歯科口腔外科疾患の症状、症候を理解し、説明できる。 歯科疾患について理解し、診断と治療を説明できる。 教科書（口の中がわかるビジュアル歯科口腔科学読本） P44-92 の範囲
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	歯科口腔の検査法、歯科口腔外科疾患の症状、症候、歯科疾患について学ぶ。			
担当	栗田 浩			
授業日	第 5 回	12月 1日(火 5)	SB0s	胃食道逆流症(gastroesophageal reflux disease <GERD>)と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。 食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類を説明できる。 ○食道炎について概説できる。
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	食道疾患の病理：食道疾患の病理について学ぶ。			
担当	岩谷 舞			
授業日	第 6 回	12月 1日(火 6)	SB0s	胃潰瘍、十二指腸潰瘍（消化性潰瘍）の病因、症候、進行度分類と診断を説明できる。 Helicobacter pylori 感染症の診断と治療を説明できる。 急性胃腸炎、慢性胃炎を概説できる。
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	胃の病理- I：胃の非腫瘍性疾患の病理について学ぶ。			
担当	岩谷 舞			
授業日	第 7 回	12月 2日(水 1)	SB0s	胃ポリープの病理と肉眼分類を説明できる。 胃癌の疫学、病理所見、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。 消化管間質腫瘍(gastrointestinal stromal tumor <GIST>)を概説できる。
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	胃の病理- II：胃の腫瘍性・腫瘍類似疾患の病理について学ぶ。			
担当	岩谷 舞			
授業日	第 8 回	12月 2日(水 2)	SB0s	炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・Crohn 病）の病態生理、病理、症候と診断を説明できる。 薬物性腸炎を概説できる。 大腸の主な先天性疾患（鎖肛、Hirschsprung 病）を概説できる。 ○腸管炎症について概説できる。
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	腸の病理- I：腸の非腫瘍性疾患の病理について学ぶ。			
担当	岩谷 舞			
授業日	第 9 回	12月 2日(水 3)	SB0s	消化管ポリポースを概説できる。 消化管神経内分泌腫瘍(neuroendocrine tumor <NET>)を概説できる。 大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。 ○大腸癌以外の腫瘍性病変について概説できる。
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	腸の病理- II：腫瘍性腸疾患の病理について学ぶ。			
担当	岩谷 舞			
授業日	第 10 回	12月 3日(木 1)	SB0s	各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 腹膜と臓器の関係を説明できる。 食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。 消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	消化管の画像診断を学ぶ。			
担当	吉澤恵理子			

授業日	第 11 回	12月 3日(木 2)	SB0s	吐血・下血の原因と病態生理を説明できる。 吐血・下血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 吐血・下血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	消化管出血、下痢、便秘の機序を理解する。			便秘・下痢の原因と病態生理を説明できる。 便秘・下痢をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 便秘・下痢がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
担当	岡村卓磨			
授業日	第 12 回	12月 3日(木 3)	SB0s	腹痛の原因と病態生理を説明できる。 腹痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 腹痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	急性腹症・心窩部痛の診断の流れについて理解する。			
担当	岡村卓磨			
授業日	第 13 回	12月 3日(木 4)	SB0s	腹痛の原因と病態について説明できる。 腹痛の原因と病態生理を説明できる。 腹痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 腹痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	腹痛・急性腹症について学ぶ。			
担当	中村 聡			
授業日	第 14 回	12月 3日(木 5)	SB0s	外科的治療の適応と合併症を説明できる。 ○外科治療の対象となりうる肝良性疾患の病態と手術適応を説明できる。 ○肝損傷に対する治療法の選択を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	肝腫瘍の外科的治療について学ぶ。-1			
担当	細田清孝			
授業日	第 15 回	12月 3日(木 6)	SB0s	外科的治療の適応と合併症を説明できる。 原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	肝腫瘍の外科的治療について学ぶ。-2			
担当	細田清孝			
授業日	第 16 回	12月 7日(月 3)	SB0s	食道・胃静脈瘤の病態生理、内視鏡分類と治療を説明できる。 胃食道逆流症(gastroesophageal reflux disease <GERD>)と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。 Mallory-Weiss 症候群を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	上部消化管病変の鑑別診断・食道疾患（内科）について学ぶ。			
担当	岩谷勇吾			
授業日	第 17 回	12月 7日(月 4)	SB0s	食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。 外科的治療の適応と合併症を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	食道疾患・食道癌に対する外科的治療を学ぶ。			
担当	宮崎 暁			
授業日	第 18 回	12月 7日(月 5)	SB0s	食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。 放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	食道癌に対する放射線治療を学ぶ。			
担当	伊奈廣信			
授業日	第 19 回	12月 7日(月 6)	SB0s	胃潰瘍、十二指腸潰瘍（消化性潰瘍）の病因、症候、進行度分類、診断と治療を説明できる。 胃ポリープの病理と肉眼分類を説明できる。 急性胃粘膜病変の概念、診断と治療を説明できる。 急性胃腸炎、慢性胃炎を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	上部消化管病変の鑑別診断・胃良性疾患を学ぶ。			
担当	岩谷勇吾			
授業日	第 20 回	12月 8日(火 1)	SB0s	胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。 外科的治療の適応と合併症を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	胃癌の外科的治療を学ぶ。			
担当	山本悠太			

授業日	第 21 回	12月 8日(火 2)	SB0s	急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。 腸閉塞とイレウスの病因、症候、診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	小腸疾患、イレウスについて学ぶ。			
担当	山本悠太			
授業日	第 22 回	12月 8日(火 3)	SB0s	Helicobacter pylori 感染症の診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ヘリコバクター・ピロリ感染と消化器疾患について学ぶ。			
担当	長屋匡信			
授業日	第 23 回	12月 8日(火 4)	SB0s	内視鏡機器の種類と原理を説明できる。 内視鏡検査法の種類を列挙し、概説できる。 内視鏡を用いる治療を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	内視鏡の治療について学ぶ。			
担当	長屋匡信			
授業日	第 24 回	12月 8日(火 5)	SB0s	腸管憩室症（大腸憩室炎と大腸憩室出血）を概説できる。 薬物性腸炎を概説できる。 感染性腸炎を概説できる。 虚血性大腸炎を概説できる。 急性出血性直腸潰瘍を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病以外）と腸疾患について学ぶ。			
担当	平山敦大			
授業日	第 25 回	12月 8日(火 6)	SB0s	炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・Crohn 病）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎とクローン病）について学ぶ。			
担当	平山敦大			
授業日	第 26 回	12月 9日(水 1)	SB0s	炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・Crohn 病）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。 痔核と痔瘻の病態生理、症候と診断を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	直腸、肛門疾患および炎症性腸疾患の外科的治療を学ぶ。			
担当	北沢将人			
授業日	第 27 回	12月 9日(水 2)	SB0s	大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。 大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。 外科的治療の適応と合併症を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	大腸癌の外科的治療を学ぶ。			
担当	北沢将人			
授業日	第 28 回	12月 9日(水 3)	SB0s	外科的治療の適応と合併症を説明できる。 ○各種消化器疾患における腹腔鏡手術の適応、術式における特徴、合併症が説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	腹腔鏡手術の実際を学ぶ。			
担当	宮崎 暁			
授業日	第 29 回	12月10日(木 1)	SB0s	消化管ポリポースを概説できる。 大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。 大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。 内視鏡を用いる治療を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	大腸癌の内科的治療と消化管ポリポースについて学ぶ。			
担当	岡村卓磨			
授業日	第 30 回	12月10日(木 2)	SB0s	小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。 ○消化器の先天異常を列挙し、説明できる。 ○小児の消化器疾患に対する手術適応と手術術式について説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	小児の消化器疾患-1について学ぶ。			
担当	吉澤一貴			

授業日	第 31 回	12月10日(木 3)	SB0s	小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。 ○消化器の先天異常を列挙し、説明できる。 ○小児の消化器疾患に対する手術適応と手術術式について説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	小児の消化器疾患-2について学ぶ。			
担当	吉澤一貴			
授業日	第 32 回	12月10日(木 4)	SB0s	
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 33 回	12月10日(木 5)	SB0s	
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 34 回	12月11日(金 3)	SB0s	消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。 ○肝の画像診断における各種検査法の特徴を説明できる。 ○基本的な肝疾患の画像所見を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	肝の画像診断について学ぶ。			
担当	山田 哲			
授業日	第 35 回	12月11日(金 4)	SB0s	A 型・B 型・C 型・D 型・E 型肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。 急性肝炎、慢性肝炎の定義を説明できる。 肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。 肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、肝臓）を概説できる。 アルコール性肝障害を概説できる。 薬物性肝障害を概説できる。 原発性胆汁性胆管炎（原発性胆汁性肝硬変）と原発性硬化性胆管炎の症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。 自己免疫性肝炎を概説できる。 脂肪性肝疾患を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	肝臓の病理-I：肝臓の構造と機能を理解し、非腫瘍性肝疾患の病態と病理について学ぶ。			
担当	小林実喜子			
授業日	第 36 回	12月11日(金 5)	SB0s	原発性肝臓、転移性肝臓の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。 ○肝障害の修復（線維化、再生）の機序を説明する。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	肝臓の病理-II：肝腫瘍の病態と病理について学ぶ。			
担当	小林実喜子			
授業日	第 37 回	12月11日(金 6)	SB0s	
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 38 回	12月14日(月 4～5)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	中間試験			
担当	長屋匡信、副島雄二、清水 明、栗田 浩、藤永康成、菅野祐幸、田中直樹			
授業日	第 39 回	12月15日(火 1)	SB0s	
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 40 回	12月15日(火 2)	SB0s	肝腫大をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。 肝腫大のある患者における医療面接、診察と診断の要点を説明できる。 脾腫をきたす疾患を列挙し、鑑別の要点を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	肝・脾腫の機序と鑑別診断を学ぶ。			
担当	木村岳史			

授業日	第 41 回	12月15日(火3)	SB0s	腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘍の原因と病態生理を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘍をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。
GI0	浮腫、腹水の機序と鑑別診断を学ぶ。			腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘍がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
担当	木村岳史			
授業日	第 42 回	12月15日(火4)	SB0s	消化器関連の代表的な腫瘍マーカーの意義を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			○肝障害の原因となる検査を理解する。
GI0	肝機能検査の種類とその目的を理解する。（内科）			○重症度を知る肝機能検査を理解する。
				○急性、慢性肝障害を鑑別する肝機能検査を理解する。
担当	木村岳史			
授業日	第 43 回	12月15日(火5)	SB0s	消化器関連の代表的な腫瘍マーカーの意義を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			○肝障害の原因となる検査を理解する。
GI0	肝機能検査の種類とその目的（基礎医学編）、ビリルビン代謝と黄疸の機序を理解する。			○重症度を知る肝機能検査を理解する。
				○急性、慢性肝障害を鑑別する肝機能検査を理解する。
担当	田中直樹			黄疸の原因と病態生理を説明できる。 黄疸をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 黄疸がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
授業日	第 44 回	12月15日(火6)	SB0s	脂質の合成と分解を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			タンパク質の合成と分解を説明できる。
GI0	アンモニア代謝・アミノ酸代謝・脂質代謝、臓器連関を理解する。			アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。
				ヘム・ポルフィリンの代謝を説明できる。
担当	田中直樹			
授業日	第 45 回	12月16日(水1)	SB0s	アルコール性肝障害を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			脂肪性肝疾患を概説できる。
GI0	アルコール性肝障害、脂肪性肝疾患・MA S Hについて学ぶ。			
担当	田中直樹			
授業日	第 46 回	12月16日(水2)	SB0s	薬物性肝障害を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			ヘモクロマトーシスを概説できる。
GI0	代謝性肝疾患、薬物性肝障害について学ぶ。			ポルフィリアを概説できる。
				Wilson 病を概説できる。
担当	田中直樹			
授業日	第 47 回	12月16日(水3)	SB0s	肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌）を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。
GI0	肝原発の悪性および良性の腫瘍の診断、内科的治療を学ぶ。			○肝の良性腫瘍、腫瘍類似病変について診断、病態について説明できる。
担当	山崎智生			
授業日	第 48 回	12月17日(木1)	SB0s	A 型・B 型・C 型・D 型・E 型肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			急性肝炎、慢性肝炎の定義を説明できる。
GI0	急性および慢性ウイルス肝炎の診断と予防について学ぶ。			
担当	城下 智			
授業日	第 49 回	12月17日(木2)	SB0s	A 型・B 型・C 型・D 型・E 型肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	急性および慢性ウイルス肝炎の病態と治療について学ぶ。			
担当	城下 智			
授業日	第 50 回	12月17日(木3)	SB0s	手術に関するインフォームド・コンセントの注意点を列挙できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			○外科の歴史
GI0	外科総論-1			
担当	副島雄二			

授業日	第 51 回	12月17日(木 4)	SB0s	創傷治癒のメカニズムを説明できる。 周術期管理における事前のリスク評価を説明できる。 周術期管理における輸液・輸血の基本を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	外科総論-2			○外科感染症 ○手術侵襲と生体反応
担当	副島雄二			
授業日	第 52 回	12月17日(木 5)	SB0s	脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃と Peyer 板の構造と機能を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	門脈圧亢進症の外科的治療、 脾臓の解剖と機能、外科的手術について学ぶ。			肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌）を概説できる。 外科的治療の適応と合併症を説明できる。
担当	安川紘矢			
授業日	第 53 回	12月17日(木 6)	SB0s	臓器移植、造血幹細胞移植の種類と適応を説明できる。 移植と組織適合性の関係を説明できる。 移植後の拒絶反応、移植片対宿主病の病態生理と発症時の対応を説明できる。 免疫抑制薬の種類、適応と副作用を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	肝移植について学ぶ。			
担当	三田篤義			
授業日	第 54 回	12月18日(金 3)	SB0s	各臓器・器官の主な寄生虫症を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	肝の感染症、血行異常について学ぶ。			肝膿瘍の症候、診断と治療を説明できる。 ○肝の血行異常について病態、診断を説明できる。
担当	山崎智生			
授業日	第 55 回	12月18日(金 4)	SB0s	急性肝不全の概念、診断を説明できる。 肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。 肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌）を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	急性・慢性肝不全について学ぶ。			
担当	山崎智生			
授業日	第 56 回	12月18日(金 5)	SB0s	原発性胆汁性胆管炎（原発性胆汁性肝硬変）と原発性硬化性胆管炎の症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。 自己免疫性肝炎を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	自己免疫性肝疾患について学ぶ。			
担当	正田純一（筑波大学消化器内科名誉教授）			
授業日	第 57 回	12月18日(金 6)	SB0s	胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。 胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。 胆嚢ポリープを概説できる。 先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	胆道系の解剖と機能を理解する。 胆石、胆嚢炎について学ぶ。			
担当	正田純一（筑波大学消化器内科名誉教授）			
授業日	第 58 回	12月21日(月 3)	SB0s	嚢胞性膵腫瘍の分類と病理所見を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	膵の解剖・良性膵腫瘍について学ぶ。			○膵の解剖と機能について説明できる。 ○膵の先天異常の病態と治療方針について説明できる。
担当	野竹 剛			
授業日	第 59 回	12月21日(月 4)	SB0s	膵癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	膵腫瘍（悪性）の外科的治療について学ぶ。			外科的治療の適応と合併症を説明できる。
担当	野竹 剛			
授業日	第 60 回	12月21日(月 5)	SB0s	胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。 胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。 胆嚢ポリープを概説できる。 先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。 急性膵炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。 慢性膵炎（アルコール性、特発性）の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。 自己免疫性膵炎を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	胆道・膵の病理-I：胆道、膵臓の機能と構造を理解し、それぞれに発生する非腫瘍性疾患の病態・病理について学ぶ。			
担当	小林実喜子			

授業日	第 61 回	12月21日(月 6)	SB0s	胆嚢・胆管癌・乳頭部癌の病理所見、症候を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			膵癌の病理所見、症候を説明できる。
GI0	胆道・膵の病理-II：胆道、膵臓に発生する腫瘍性疾患の病態・病理について学ぶ。			嚢胞性膵腫瘍の分類と病理所見を説明できる。
担当	小林実喜子			○膵ラ氏島ホルモンの作用を理解し、ホルモン産生腫瘍の病態と病理を説明できる。
授業日	第 62 回	12月22日(火 1)	SB0s	胆嚢・胆管癌・乳頭部癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			外科的治療の適応と合併症を説明できる。
GI0	胆道腫瘍の外科的治療について学ぶ。			
担当	窪田見治			
授業日	第 63 回	12月22日(火 2)	SB0s	消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			○胆膵の画像診断における各種検査法の特徴を説明できる。
GI0	胆膵における画像診断法の適応、主要疾患の典型的画像所見と鑑別診断のポイントを理解する。			○基本的な胆膵疾患の画像所見を説明できる。
担当	藤永康成			
授業日	第 64 回	12月22日(火 3)	SB0s	小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	栄養素の消化吸収、低栄養やビタミン欠乏、栄養アセスメントと栄養療法の実際について学ぶ。-1			
担当	田中直樹			
授業日	第 65 回	12月22日(火 4)	SB0s	ビタミン・微量元素の欠乏症と過剰症を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	栄養素の消化吸収、低栄養やビタミン欠乏、栄養アセスメントと栄養療法の実際について学ぶ。-2			
担当	田中直樹			
授業日	第 66 回	12月22日(火 5)	SB0s	
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 67 回	12月22日(火 6)	SB0s	
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 68 回	12月23日(水 1)	SB0s	急性膵炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	急性膵炎の病態、診断、治療について学ぶ。			
担当	中村 晃			
授業日	第 69 回	12月23日(水 2)	SB0s	慢性膵炎（アルコール性、特発性）の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			自己免疫性膵炎を概説できる。
GI0	慢性膵炎の病態、診断、治療について学ぶ。			
	○授業のふりかえりを入力する			
担当	倉石康弘			
授業日	第 70 回	12月23日(水 3)	SB0s	
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	自習			
担当				

授業日	第 71 回 12月25日(金4～5)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂		
G10	期末試験		
担当	長屋匡信、副島雄二、清水 明、栗田 浩、藤永康成、菅野祐幸、田中直樹		